

令和2年度 串間市立金谷小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

経営ビジョン：豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断し、進んで実践するたくましい児童の

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点目標	評価項目	平均（4点満点）					総合	考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
		児童	保護者	委員	職員	平均			
危機回避能力と豊かな心の育成【徳】	① 学校は、避難訓練、集団下校等とおして、危機回避能力の育成に努めている。	3.7	3.9	4.0	3.6	3.8	3.7	<p>総合評価は、4点満点中「3.7」で、達成率92.5%である。①の「危機回避能力の育成」については、「3.8」と高い評価を得た。これは、避難訓練、集団下校の実施はもとより、津波避難に関する内容や危険箇所マップの掲示等による成果だと考えられる。</p> <p>②と③に関する職員の評価が、他の評価者よりも低い。②に関しては、児童間のトラブルや日常の行動観察等から「十分に育っている」と言い難い」と考えていることが分かる。③に関しては、大きな声で返事をすることや児童だけの活動の際に「乱暴な言葉づかい」が聞かれることから低い評価であると考えられる。</p> <p>「危機回避能力の育成」については、次年度も引き続き重点項目にする一方で、「思いやりの心の育成」や「返事・言葉づかい」のよりよい定着に向けた取組の工夫・改善を行いたい。</p>	<p>①に関しては、避難訓練や集団下校等とおして、児童間の意思疎通や連帯感、思いやりが育っていると感じる。防災ウォークラリーなどで、児童自らが危険箇所を確認し、防災マップを作成することで、危機回避意識の向上につながっていると思える。</p> <p>②に関しては、命の大切さや思いやりの必要性について理解しているものの、言葉の重さや命の尊さについては深く考えていないので、乱暴な言葉で傷つける場面を見ることがある。新型コロナウイルスの影響で児童もストレスを感じていると思うので、学校だけではなく、家庭でも差別や思いやりについて話し合う必要があると思う。</p> <p>③については、地域の大人たちに挨拶や気持ちの良い返事をしたり、地域施設の入居者にやさしい声かけをしたりする姿を見ることができている。挨拶や返事以外の片付けや言葉づかいについては、家庭で「一日の自己評価」をつけさせることで自己を振り返らせ、意識化を図るとよいのではないかと。</p>
	② 学校は、命を大切に教育や人権教育、異学年交流等とおして、思いやりの心の育成に努めている。	3.8	3.9	4.0	3.1	3.7			
	③ 学校は、「挨拶・返事・片付け・言葉づかい」等の基本的な生活習慣の定着に努めている。	3.5	3.9	3.7	2.9	3.5			
たくましい体の育成【体】	④ 学校は、体育の授業や「体力向上」の時間等とおして、体力向上に努めている。	3.7	3.8	3.7	3.1	3.6	3.5	<p>総合評価は、4点満点中「3.5」で、達成率87.5%である。</p> <p>④に関する評価平均は「3.7」だが、職員の評価が「3.1」と低い。スポーツ少年団に所属している児童とそうでない児童とに体力差があることから、校内活動において、全ての児童に体力を向上させることが次年度の課題である。</p> <p>⑤に関しては、養護教諭を中心に食育と健康指導を行い、保護者に家庭での実践項目を示した文書や学期末の通知表とともに、児童の健康状況を示した文書を出すなどして啓発や理解に努めた。次年度も、保護者と協力して児童のたくましい体の育成に努める。</p>	<p>④に関しては、学校から帰ってきて外で遊んでいる児童を見かけることがほとんどないので、スポーツ少年団等に所属している児童とそうでない児童との間に体力差が出ているのではないかと思われる。しかしながら、運動会などで全員レーの走順を考える際は、それぞれの体力差を考慮したアドバンテージを設定するなど、児童間でお互いの体力を理解した日常生活が送れているのだと好感がもてた。新型コロナウイルスの影響で外に出かけて運動する機会が減ってきているので、学校でも体力向上に努めてほしい。</p> <p>⑤に関しては、学校に頼り切っている家庭が多いと感じる。文書等を通じてどのような指導がなされているのかが分かりやすく、学校の指導を家庭でも実践しようとする姿が見られる。また、学校での食育指導はとても良く、家庭でも浸透してきていると思うので、次年度も継続してほしい。</p>
	⑤ 学校は、食育指導や健康指導とおして、健康的な生活習慣の定着に努めている。	3.6	3.8	3.3	3.2	3.5			
確かな学力の向上【知】	⑥ 学校は、「分かる・できる」授業とおして、学力の向上に努めている。	3.6	3.7	4.0	3.2	3.6	3.6	<p>総合評価は、4点満点中「3.6」で、達成率90%である。</p> <p>⑥については、児童・保護者・評価委員ともに期待値の「3.6」（達成率90%）を上回っている。⑦については、職員が「3.7」と評価が高い。これは、応募した作品が、数多く受賞したことによる結果だと考えられる。</p> <p>⑧については、児童は「3.5」（達成率87.5%）、保護者「3.6」（達成率90%）を示している。これは、毎月「0」がつく日を「家読・ノーマディアデー」とし、「読書通報」に児童や保護者のコメントを書かせたり、図書室に「読書量を見える化」したりした成果の表れだと評価できる。しかし、評価委員の評価が「2.7」（達成率67.5%）と低いことについては、真摯に受け止め、家読の習慣化を目指した取組の工夫・改善に努めたい。</p>	<p>⑥に関しては、参観日に「分かる・できる」授業をしていただいていると感じる。複式学級ならではの担任が一方の学年を指導している「わたり」の時間帯に児童同士で意見を出し合っ答えを導くことは大変良いと感じる。</p> <p>⑦に関しては、随時作品を応募していただき、ありがたい。新聞や展示会等で作品を見るたび、学校の努力が目に見える。児童も作品の受賞により、自信と意欲が高まっていると思う。また、少人数ならではの良さとして、各種発表の機会が均等に数多く回ってくるので、貴重な体験ができていると感じる。</p> <p>⑧に関して、「家読」の習慣化がなかなか身に付かず、読書の質の向上が必要だと感じる。読書が苦手な児童もいると思うので、本を読んだ後に文章で感想を書くだけでなく、簡単な読書感想画などの絵を描いて表すなどのイメージ化を行えば、楽しさを味わうことができ、読書の習慣化が図られるのではないかと。ただ、家庭には視覚を中心としたメディアがあふれているので、毎月0（ゼロ）がつく「家読・ノーマディアデー」では、保護者がテレビなどのメディアをやめ、児童とともに読書を行うようにすることも大切であろう。</p>
	⑦ 学校は、集会における発表や作品応募とおして、表現力の育成に努めている。	3.4	3.9	4.0	3.7	3.8			
	⑧ 学校は、読書の時間や「家読」をおして、読書の習慣化に努めている。	3.5	3.7	2.7	3.3	3.3			
開かれた学校づくりの推進	⑨ 学校は、くしま学、総合的な学習の時間とおして、「くしま愛」の育成に努めている。	3.9	3.8	3.3	3.3	3.6	3.6	<p>総合評価は、4点満点中「3.6」で、達成率90%である。</p> <p>⑨に関しては、児童が「3.9」（達成率97.5%）、保護者は「3.8」（達成率95%）と非常に高い評価を得た。総合的な学習の時間については、本年度から「くしま学」の内容がより探究的な活動へと見直しされ、串間市の課題解決や活性化への意識向上が図られたためだと考えられる。</p> <p>⑩に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部の人材を十分に活用することができなかった。次年度は、参観日や行事等とおして地域の人材を活用し、さらに開かれた学校づくりに努めたい。</p> <p>⑪に関しては、「3.7」（達成率92.5%）と高い評価を得た。これは、学校だよりを毎月2回発行して地域の回覧板で見ていただく取り組みを行ったり、学校のHPを毎日更新したりするなどして、広報活動に努めた成果だと考える。</p>	<p>⑨に関しては、「くしま学」の内容を家庭で話題に出す姿から、児童が学年に応じて串間市のことを知り、考えていく学習の良さや効果を実感している。串間市について、調べたり考えたりすることは、将来的にとっても良いと思う。</p> <p>⑩に関しては、新型コロナウイルスの影響でほとんどの校外行事や外部講師の招聘が中止となり、残念であった。新型コロナウイルスが沈静化した後は、外部講師などを活用してほしいと思う。</p> <p>⑪に関しては、地域の回覧板で「学校だより」を読むことができ、毎回楽しみにしている。また、毎日学校のHPを更新しているため、児童の活動などが分かり、とても良いと思う。さらに、学校配信メールやHPを通じて、色々な情報を認識したり、共有したりすることができているので、今後も継続して発信してほしい。</p>
	⑩ 学校は、授業に「地域の内容」や「外部の人材」活用をおして、開かれた学校づくりに努めている。	3.5	3.8	3.3	3.2	3.5			
	⑪ 学校は、学校だよりや学校WEBとおして、広報活動に努めている。		3.8	3.3	3.9	3.7			